

令和2年8月25日

厚生保健委員会

健康福祉部保健環境研究所

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に対応するための 可搬型検査機器整備について

1 目的

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に備えるため、迅速検査が可能な可搬型検査機器「リアルタイム等温増幅器 (LifeCase)」(以下ライフケースという。)を整備するもの。

2 予備費充用額・充用先

1,923千円

款 衛生費 項 保健衛生費 目 保健衛生検査費
事業 保健環境研究所管理運営事業 節 備品購入費

3 事業内容

ライフケース1台を整備することにより、以下の対応を可能とする。

- ・ 医師の常駐していない施設のクラスター対応
医師が常駐していない老人ホームや介護施設等におけるクラスター発生時、ライフケースを職員が持ち込み、その場で検査を実施でき、迅速な対応が可能。
- ・ 検体検査可能数の拡充
PCR検査システムの検査可能数を上回る検体数が発生した場合、ライフケースの併用により、検体検査可能数を拡充できる。(陽性検体の把握)

4 その他

PCR検査実績 (保健環境研究所実施分)

令和2年2月13日～2月29日：53件	3月1日～3月31日：211件
4月1日～4月30日：528件	5月1日～5月31日：220件
6月1日～6月30日：143件	7月1日～7月31日：633件
8月1日～8月5日：223件	

合計 2,011件

- ・ 陽性検体数：137 (陰性確認含む)